

## 日本サイコネフロロジー学会認定サイコネフロロジー公認心理師 症例レポート 記載にあたっての注意事項

提出前に、以下を必ずご確認ください。

### ① 書式等が適切に設定されている。

- 1) A4版に、1ページ 40文字×35行で設定する。
- 2) フォントは 11ポイントで、和文は明朝体（見出しはゴシック体太字）、英数字は Century で書く。
- 3) 日本語は全角、英数字は半角で書く。
- 4) 句点は「。」が使われている。読点は「、」または「,」を使い、混在していない。

### ② 文字数が適切である。

- 1) 各レポートの「介入の契機」「心理実践」「考察」の見出しを含む文字数は規定字数（1,200字）の8割（960字）以上であり、かつ規定字数を超過しない。
- 2) 「介入の契機」「心理実践」「考察」の見出しを含む文字数を末尾に記入する。

### ③ 心理実践の種類を選択してある。

- 1) 症例は、公認心理師としての実践であれば、単回のアセスメントを含む「患者への介入（直接支援）」のほか、「家族への介入」、「医療者支援（コンサルテーション）」、「その他」でも可。
- 2) 「その他」の場合、簡潔に説明を加える。
- 3) 5つの症例のうち、少なくとも1つは「患者への介入」を主な実践内容とする。

### ④ 症例番号を選択してある。

- 1) 症例報告論文を提出する場合には、レポートは症例番号 1 から始め、後半を使用しない。  
例：2本の症例報告論文を提出する場合、レポートは症例1、2、3とする。

### ⑤ 個人情報適切に取り扱われている。

- 1) 固有名詞等、個人が特定される可能性のある情報を記載しない。